

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>3.2</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>				<b>3.6</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00		<b>3.1</b>		
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50				
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50				
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能	Dr-50の性能を確保する計画とした。		-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20				
1.3 吸音			-		-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.8</b>		
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00				
1 室温		3.0	0.63	-	-				
2 外皮性能	断熱等性能等級4相当	3.0	0.38	4.0	1.00				
3 ゾーン別制御性			-		-				
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-				
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.5</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.8</b>		
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50				
1 昼光率	共用部:昼光率≥2.5% 住宅部:昼光率≥2.0%	5.0	0.60	5.0	0.50				
2 方位別開口			-	3.0	0.30				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20				
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50				
1 昼光制御	住戸部:カーテン及び庇の組み合わせにて昼光制御している。	2.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	-	-				
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.6</b>		
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63				
1 化学汚染物質	建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00				
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能			-	3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33				
4.3 運用管理			-		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>				<b>3.2</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.7</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応	各住戸1Gbps相当		-	5.0	1.00				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40				
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理		3.0	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30				<b>3.0</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得予定	5.0	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管管PEP(B),汚水排水及び雑排水VP(B)	5.0	0.20		-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-				
2.4 信頼性		2.4	0.20		-				
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-				
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20		-				
3 電気設備		3.0	0.20		-				
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-				
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-				

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>2.6</b>	0.50	
1	階高のゆとり				<b>3.0</b>	0.60	
2	空間の形状・自由さ				<b>2.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30			<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30			<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50			
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.2</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級4相当	<b>4.0</b>	0.20			<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10			<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.84	<b>5.0</b>	0.50			<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>2.2</b>	0.20			<b>2.2</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>1.0</b>	0.40			
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-			
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.6</b>	0.60			<b>2.6</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10			
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20			
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.20			
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			1.0	0.20			
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10			
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		躯体+軽鉄+仕上げ材のディテールを採用している。	4.0	0.20			
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20			<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある。	<b>4.0</b>	0.30			
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出率78%	<b>3.8</b>	0.33			<b>3.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33			<b>3.0</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25			
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50			
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制		3.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25			
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33			<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照障害の抑制		3.0	0.30			
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			